

三重県知事のブラジル・サンパウロ訪問（8月22日）の概要について

（時刻は現地時間。時差は日本時間に対してマイナス12時間）

一見知事は、令和5年8月22日（火）に、サンパウロ州政府、日本移民史料館、サンパウロ州議会を訪問するとともに、ジャパン・ハウス サンパウロで日本酒セミナーに出席し、今回訪伯の現地行程を終了しました。

1 サンパウロ州政府訪問

（1）日時 令和5年8月22日（火）11時00分から12時30分まで

（2）場所 サンパウロ州政府（バンデイランティス宮殿）

（3）出席者

（サンパウロ州政府側） フェリシオ・ハムス 副知事

ルーカス フェラス 国際事業局長 ほか

（サンパウロ総領事館） 桑名 良輔 総領事 ほか

（三重県人会） 広瀬 哲洋 会長、下川 孝 副会長、松本 茂 評議員会長

（三重県側） 一見知事、中森議長 ほか

（4）概要

サンパウロ州と三重県は、1973年に姉妹提携を締結し、今年50周年を迎えることから、一見知事、中森議長が、同州政府を訪問し、桑名サンパウロ総領事立会いのもと、両県州の今後のさらなる交流に向けて、ハムス副知事と意見交換しました。

① 一見知事は、「50周年という記念すべき節目の年に、サンパウロ州を訪問することができうれしい。三重県とサンパウロ州は1973年に姉妹提携を締結した。本県にとっては、海外との最初の姉妹提携であるとともに、同州にとっても日本の自治体との最初の姉妹提携であり、長きに渡り、幅広い分野で交流を行ってきた。教育分野については、三重大学とサンパウロ大学が交流を再開しようとしており、さらに観光面では、ブラジルから日本への渡航に対する査証の免除が実施されようとしている。サンパウロ州とのさまざまな分野での交流促進についての確認書（以下、MOUという）については最終調整段階であり、今後オンライン会議を活用しながらMOUを締結したい」と述べました。

② これに対し、サンパウロ州政府側は、「経済、気候変動、サステナビリティなどの国際的な課題の解決に取り組む上で、パートナーシップが重要である」と述べ、「三重県とのMOU締結に向けても、ほぼ準備が整ってきている」と前向きな発言がありました。また、「スポーツ・文化・教育・アートなどは、家族や若者たちの絆をつなぐものであり、忍者の実演など、三重県の文化を大切にする姿勢を共感できた。ここ数年、世界経済はコロナ禍で厳しい状況にあったが、時には大変な自然のなかで真珠が育まれるように、我々も真珠のような美しいものを作り出せるかもしれない」と述べられました。

③ 最後に、一見知事は、『教育、環境などの分野についてWebにより両知事の署名によるMOUの締結を行うこと』を提案しました。



(会談の様子)



(ハムス副知事と記念品交換)



(全体写真)

2 移民史料館等訪問

- (1) 日時 令和5年8月22日(火) 14時45分から15時30分まで
(2) 場所 ブラジル日本移民史料館(サンパウロ市内リベルダージ地区)
(3) 出席者
 (史料館側) 山下リヂア玲子館長 ほか
 (三重県人会) 広瀬 哲洋 会長、下川 孝 副会長、松本 茂 評議員会長
 (三重県側) 一見知事、中森議長 ほか
(4) 概要

- ①一見知事、中森議長は、三重県人会関係者とともに、ブラジル日本移民史料館を訪問し、山下館長から、日本人のブラジル移住の歴史、移住者の生活の様子、日本人移住者がブラジルの発展に果たした役割等について説明を受けました。同行した県人会関係者からも、移住当時の苦労などについて話を聞く場面がありました。



(展示を視察する一見知事)

- ②続いて、日本人街(リベルダージ)にある、県とサンパウロ州の姉妹提携を記念して名付けられた「三重県橋」を視察しました。

※サンパウロ市内で、日本の自治体の名前が冠されているのは、三重県の他にはサンパウロ市と姉妹提携している大阪市(大阪橋)のみです。



(三重県橋)

3 サンパウロ州議会訪問

- (1) 日時 令和5年8月22日(火) 17時00分から18時00分まで
- (2) 場所 サンパウロ州議会(サンパウロ市内)
- (3) 応対者
(サンパウロ州議会) アンドレ・ド・プラド議長 ほか
(三重県側) 中森議長、一見知事 ほか
- (4) 概要

サンパウロ州議会を訪問し、プラド議長や姉妹提携締結に関わった議員などと挨拶を交わし、友好を深めました。

中森議長は現地テレビ局の取材を受け、「一見知事とフェリシオ・ハムス州副知事との間で、様々な分野でより一層交流を進めていくことを確認したところである。三重県議会としても、環境や教育分野等の交流の促進をサポートしていきたい」と述べられました。



(左から、中森議長、プラド州議会議長)



(インタビューを受ける中森議長)

4 ジャパン・ハウスでの日本酒セミナー

(1) 日時 令和5年8月22日(火) 20時00分から20時10分まで

(2) 場所 ジャパン・ハウス サンパウロ(サンパウロ市内)

(3) 主催者 ベースコンサルティング(コーディネーター)
NISHIKI SAKE(日本酒インポーター)

(4) 出席者 32名

(セミナー参加者)

現地メディア、インフルエンサー、レストラン関係者等

在サンパウロ総領事、JETROサンパウロ事務所、三重県人会ほか

(三重県側) 一見知事、中森議長 ほか

(5) 概要

①現地事業者が主催し、ジャパン・ハウス サンパウロを会場として開催された三重の日本酒と現地食材を使ったメニューを紹介するセミナーに出席しました。

②セミナー冒頭、一見知事から、「ブラジルで日本酒の関心が高まっている。三重の日本酒は日本国内で評価が高いものの、ブラジルには、まだほとんど輸出されていない。今回主催された企業の皆様のおかげで、三重の酒をサンパウロで紹介する機会を作っていただいたことに感謝。参加の皆さんにはG7サミットやG7交通大臣会合でも使用された三重の酒を体験いただきたい」と挨拶しました。

(6) 今回紹介された三重の日本酒

○瀧自慢酒造(名張市) 「瀧自慢」

○元坂酒造(大台町) 「酒屋八兵衛」、「KINO(帰農)」

○大田酒造(伊賀市) 「半蔵」

※うち、「瀧自慢」、「酒屋八兵衛」、「KINO(帰農)」の3銘柄については、今後サンパウロ市内のレストランで、料理とともに提供予定。

※当セミナーでは、萬古焼のぐい呑みを使用(県提供)。



(挨拶する一見知事)